

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科

国際学部国際学科

留学先国名

タイ

留学先都市

バンコク

留学先大学

タマサート大学

留学先所属学部

教養学部

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）

2022年7月～2022年12月

学年（出発時）

3年

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2023 / 01 / 11

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

タイの国立大学の一つで、チュラロンコン大学などと並んで歴史ある非常に有名な大学の一つです。タイの大学ランキングでも上位に入ることが多く、授業はハイレベルなものが多いです。キャンパスはバンコク旧市街に位置するタプラチャンキャンパスとバンコク郊外に位置するランシットキャンパスに分かれています。校風としては、歴史的な背景などもあり自由な校風が特徴で、国立大学では珍しく制服の着用が自由であることなどがあげられます。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

語学面に関しては、留学生向けにタイ語の授業が開講されており、週1回の授業を通してタイ語の基本を学ぶことができます。

勉強面でのサポート

精神面でのサポート

タマサート大学には毎年多くの日本人留学生が留学しているので、時にはその留学生を頼るのもいいと思います。

生活・住居面でのサポート

VISAの手続きなどについては、OIAオフィスという学部の中に留学担当のオフィスがあり、そこで書類などを準備してもらいました。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

住居は大学から近くにある留学生が多いアパートのリストが示されていたので、その一つに滞在していました。部屋はワンルームでしたが、十分な広さがあり、満足していました。部屋にはキッチンがなかったため、もし自炊を考えているのであれば、部屋をしっかりと選ぶ必要があると思います。家賃は月約4万円ほどでした。

(2) パソコンについて
PCの保有状況

- 日本から持参した
- 現地で購入した
- 保有しなかった

Wi-Fiの有無

- 有
- 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

自分はアパートのWiFiを使用していましたが、同時に1デバイスしか使用できず、通信速度もそこまでよくなかったため、PCを使用する際のみ繋ぎ、スマホは容量の大きいSIMカードを購入して使っていました。料金は家賃に加算される形で月2000円ほどでした。

友人の中には、独自に通信会社と契約して部屋にWiFiを設置している人もいました。

大学での PC の使用可否

- 使用できた
- 使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

よくPCを使用していたのは大学の図書館です。充電できるコンセントもあり、WiFiの通信速度も充分でした。キャンパス内であれば、外でもつながることが多いですが、外はどうしても暑いので、長時間の作業をする場合は学部の建物か図書館で作業していました。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無

- 有
- 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

留学中に病院を受診することはなかったですが、もし受診するのであれば、大学から渡し船で10分ほどの場所に総合病院があるため、そこでの受診をおすすめします。バンコクの中でも日本人が多いエリアに行けば、日本語が通じるクリニックや病院、薬局などもあります。

病院には行きませんでした。留学中に体調を崩したことは何度かあり、下痢や熱などもありました。なので普段、服用している常備薬などを多めに持っていくことをおすすめします。

(4) 銀行口座について 留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

バンコク銀行という銀行の口座を開きましたが、大学と銀行が連携しており、学生証とキャッシュカードが一体化していました。留学開始後、約1ヶ月後ぐらいに、大学担当者から銀行に学生証を受け取りに行くよう言われました。手続き自体はパスポートさえあればすぐ終わるものでした。

(5) 異文化体験について 留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

留学中にまず感じた異文化は仏教が人々の生活に根ざしているものであるということです。例えば、家から歩いていける範囲内だけでも3、4カ所にお寺があり、それぞれのお寺に多くの人がお参りしていました。お参りはせずとも、お寺の前を通る際はワイと呼ばれる手を合掌した状態で通るようにするなど、人々の生活に密接に結びついているなと感じていました。それに加え、国王や王室に対する生活との結びつきが濃いなと感じました。街中や店など様々な場所に写真や銅像があり、駅や地名にも国王の名前が付けられた場所なども多くありました。また驚いたのが、朝夕二回、駅やモール、公園などの公共の場所で国歌が流され、その間は直立不動で動きを停止させるという習慣です。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

バンコク最大のスラムを支援している財団を見学させていただいたり、JICAのタイ事務所で働かれている方に活動についてのお話を伺うなど、国際協力などについても学びました。友人の中には、週に何度かボランティア活動している友達もいました。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

バンコクは比較的治安が良いことで知られていますが、盗難やスリなどには気をつけるようにしていました。

外国人への態度としては、明らかに外国人・観光客と分かる場合にはタクシーや市場などで割高な料金を言われることも多いので、配車アプリを使ったり、なるべくタイ語で話したりするようにしていました。しかし、タイは観光大国なので、外国人が困っていれば親切に教えようとしてくれることも多いので、そこまで心配しすぎる必要もないと思います。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

在タイ日本国大使館からのメール

タイ在住の日本人ブロガーやYoutuberの方が発信している情報

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

- ・ 普段から使用している常備薬
- ・ 長袖の衣類（羽織り物など）

基本的には、タイにはなんでもあるという前提で大丈夫だとは思いますが、もし、日本食が食べたくなくても日本食レストランはどこにでもありますし、日系のスーパーなどもあるので心配はないかと思います。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

まず、一つは交友関係が広がったことです。タイ人の友達だけでなく、留学生同士のつながりが強かったため、日本も含めた世界各地からの留学生と友達になったことは大きなつながりを得たと思っています。次に、タイにいるからこそ、日本の魅力や逆に良くない部分などが分かり、非常に勉強になったと思います。タイでは日本は憧れの旅行先として非常に人気が高く、日本の魅力を改めて認識させられるきっかけとなりました。そして最後に物事に対する価値観が広がったことです。タイではマイペンライ精神と言われるような何事に対しても大丈夫というような価値観があり、そのような価値観も含め、様々な物事を新たに知ることができ、価値観や文化に対する考え方が広がったなと感じています。

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

IELTS 6.0 / TOEIC 815

留学後－資格試験名称および点数（級）

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

留学中は幸いそこまで多くのトラブルに巻き込まれることはありませんでしたが、一つは友達と旅行中にタクシーの中にスマホを置き忘れてしまったことです。その後、タイ語が話せる友達にタクシードライバーの方と電話してもらい、持ってきてもらえたため、事なきを得ました。もう一つは旅行先のベトナムでタクシーに乗った際にぼったくられてしまったことです。普通であれば500円ほどの距離のところを、9000円ほど支払わされるはめになってしまいました。その後は配車アプリを使うようにしたため、そのようなことはなかったのですが、所持金が少ないなかで、それだけの大金を支払わざるを得ない状況になってしまったのはかなり困りました。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

授業は4科目履修していましたが、そのうち2つはコロナの状況もあり、オンライン授業でした。クラスの人数は多くて30~40人程度でした。成績評価は主にレポートやプレゼンテーションなどの課題に加えて、中間と期末の2回のペーパーテストで評価される科目が多かったです。授業内ではグループワークやディスカッションなども多くありました。現地学生の取り組み方としては、大学の図書館や食堂などで友達同士で助け合いながら課題などに取り組んでいる光景をよく見かけました。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

いくつかオンラインでのインターンなどに参加しましたが、留学中は留学に専念したかったため、就職活動にはそこまで力を入れていませんでした。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1バーツ=3.9円

(2) 航空運賃

往復合計 約9万円

(3) 住居費

住居費（月額）

約4万円

住居費（留学期間合計）

約20万円

(4) 食費 (月額)

約3万5千円

(5) 保険料

(6) その他

タイ国内や近隣の東南アジア諸国への旅行を考えている場合はその費用も計算に入れておくとよいでしょう。

(7) 留学費用の合計

約85万円

5. その他 自由に記入してください。

タイでの留学生活は、自分にとって様々なことに対して新たに考え直すきっかけをくれた非常に有意義な時間でした。タイは料理がおいしく、寺院などの観光名所も多く、自然も非常に豊かで、親切な人が多く、留学先としては申し分ないと思います。英語圏ではないため、語学のために留学を考えている人にはおすすりできませんが、新しい価値観や文化に触れたいという人にはおすすりの留学先です。ぜひ一度タイへの留学を考えてみてください。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム